

聖山 梅里雪山の麓の暮らし

小林尚礼

はじめに

1998 年の遺体発見から、毎年、梅里雪山(メイリー・シュエシャン)へ通うようになり、これまでに延べ14ヶ月を現地で過ごしました。山麓に暮らす人々は、山とどう関わり、山をどのように見ているのか、現地での体験をもとにお話しさせていただきます。

話題

- ・梅里雪山山群、伝説
- ・明永(ミンヨン)村 (ムロン-脚のあいだ)
- ・朝の祈り (平和・長寿を願う)
- ・正月の行事 (初詣で、仏塔へ、神水)
- ・麦刈り (六条裸大麦-ガラ-青稞麦)、チョン(釀造酒)、アラ(蒸留酒)
- ・夏(雨季)の放牧、バター・チーズつくり、豊かな森
- ・内巡礼 (バチュ寺、神瀑チエバシェ、太子廟)
- ・外巡礼 (ドケラ、ル・ワスイラ、ノ・ジャジン、ション・ツゲ)
- ・聖山とはなにか

(補足1) これまでの梅里雪山行き

1991年 1月 3日	梅里雪山第 2 次登山隊 17 人の遭難		
1996年 10月～12月	2ヶ月間	秋～冬	梅里雪山第 3 次登山
1998年 8月	(2週間)	夏	遺体出現・収容
1999年 7月～10月	4ヶ月間	夏～秋	初めての滞在、巡礼1
2000年 2月	1ヶ月間	冬	正月の祭り
2000年 6月	1ヶ月間	初夏	麦の収穫
2000年 10月～12月	2ヶ月間	秋～冬	巡礼2、遭族旅行1
2001年 3月～ 5月	2ヶ月間	春	桃・梨・林檎
2001年 8月～ 9月	2ヶ月間	夏	松茸と放牧
2002年 11月	(1週間)	秋	遭族旅行2
2003年 10月～11月	2ヶ月間	秋	巡礼3
2004年 4月・6月・10月	(3週間)	春～秋	遺体収容、遭族旅行3

(補足2) 基本データ

- ・梅里雪山の位置：中国雲南省とチベット自治区の境界上
- ・梅里雪山の峰々：主峰カワカブ(6740m)、メツモ(6054m)、ジャワリンガ(5470m)、チョタマ(6509m)…
- ・徳欽県：人口 58,145 人(1998 年)、そのうちチベット族 80%・リス族 15%・ナシ族 2%
- ・明永(ミンヨン)村：家屋 51 戸、人口約 300 人、チベット名：ムロン
- ・雨崩(ユイボン)村：家屋 25 戸、人口約 150 人、チベット名：レボン
- ・山麓の民族：チベット族(カムパ)
- ・山麓の言語：チベット語(カム地方の方言)
- ・山麓の宗教：チベット仏教(ニンマ派、ゲルク派)

(参考資料)『岳人』連載「梅里雪山 17 人の友を探して」

- | | | | |
|------------|------------------|------------|--------------|
| 1 ('04- 7) | カワカブとの出会い<一> | 8 ('05- 3) | 森と放牧地の旅<二> |
| 2 ('04- 9) | カワカブとの出会い<二> | 9 ('05- 4) | 聖山とはなにか |
| 3 ('04-10) | 聖山への登山 | 10 ('05-) | カワカブ一周の巡礼<一> |
| 4 ('04-11) | 魔の山、聖なる山、そして豊かな山 | 11 ('05-) | カワカブ一周の巡礼<二> |
| 5 ('04-12) | 春、二人の死 | 12 ('05-) | カワカブ一周の巡礼<三> |
| 6 ('05- 1) | 松茸の香り | 13 ('05-) | 最後の友を探して |
| 7 ('05- 2) | 森と放牧地の旅<一> | | |

梅里雪山一周の巡礼路

10

20km



山西溪谷2004年7月号刊

